

日本鉄鋼協会記事

国際交流委員会

1986年度第2回国際交流委員会 開催日：7月16日。
出席者：堀川委員長，ほか18名。

1. 二国間シンポジウムを国内で開催する場合の日本側参加者の資格につき討議された。
2. 本会の国際交流事業の中長期計画として，向こう5年間に7つの国際会議と8つの二国間シンポジウムを開催した場合の概算想定につき審議された。

編集委員会

第5回和文会誌分科会 開催日：7月11日。出席者：坂尾主査，ほか30名。

1. 33件の論文審査報告がなされ，掲載決定21件，照会后掲載可6件，修正依頼1件，その他5件であった。
2. 「鉄と鋼」第72年第15号(11月号)に論文14件，技術報告2件，寄書1件掲載決定した。
3. 「鉄と鋼」第72年第16号(12月号)に論文11件，技術報告3件掲載決定した。

第5回欧文会誌分科会 開催日：7月4日。出席者：加藤主査，ほか14名。

1. 13件の原稿につき審査報告がなされ，照会后掲載可1件，修正依頼9件，返却3件であった。

共同研究会

昭和61年度第1回共同研究会運営委員会 開催日：6月26日。出席者：久松会長，ほか26名。

- 1) 昭和60年度共同研究会決算報告
- 2) 昭和61年度共同研究会予算報告
- 3) 昭和60年度共同研究会活動報告
- 4) 共同研究会海外技術交流に関する取り決め事項の承認
- 5) 共同研究会運営に関するアンケート結果報告
- 6) 部会・分科会開催地集中緩和の検討
- 7) 部会長報告

昭和61年度第1回共同研究会総務幹事会 開催日：5月28日(出席者：安藤幹事長，ほか31名)。

- 1) 昭和60年度共同研究会決算報告
- 2) 昭和61年度共同研究会予算報告
- 3) 昭和60年度共同研究会活動報告
- 4) 共同研究会海外技術交流に関する取り決め事項の検討
- 5) 共同研究会運営に関するアンケート結果報告

第83回圧延理論部会 開催日：6月12, 13日。開催地：川崎重工・神戸。出席者：中川部会長，ほか112名。

1) 招待講演

東大名誉教授 鈴木 弘殿
「圧延技術開発の方向に関する私見」

2) 各社論文発表

各社より，圧延理論，板，管，条関係と多岐に亘る11件の論文発表があつた。

3) 特別講演

川重プラント事業部：野間徹郎殿
「PSW ミル遊星型傾斜ロール高圧下圧延機の現況」

4) 工場見学

川崎重工，西神戸工場を見学した。

第43回コールドストリップ分科会 開催日：6月12, 13日。開催地：日本鋼管・福山。出席者：浅村主査，ほか130名。

1) 操業状況調査(昭和60年10月～昭和61年3月)

酸洗，冷間圧延，電解清浄，焼鈍，連続焼鈍，調質圧延

2) 共通議題アンケートの集約

「設備改造・改善」

3) 各社共通議題発表

各事業所より，設備改造・改善に関する事例発表が件あつた。

4) 工場見学

日本鋼管・福山製鉄所冷延工場を見学した。

第2回亜鉛めつき鋼板部会 開催日：7月3・4日。開催地：日新製鋼・市川。出席者：川崎部会長，ほか102名。

1) 操業状況(昭和60年10月～昭和61年3月)

2) 共通議題アンケートの集約

「要員と省力化状況」

3) 自由議題発表

各事業所より，操業改善：4件，品質改善：9件，省エネルギー：4件，計17件の発表があつた。

4) 工場見学

日新製鋼・市川製造所連続溶融亜鉛鍍金ラインを見学した。

第46回鋼管部会 開催日：6月5, 6日。開催地：新日鉄・八幡，神鋼・長府北。出席者：森部会長，ほか142名。

1. 共通議題「鋼管のNDIについて」

2. 溶接鋼管分科会報告

(1) 概況報告(合田主査)

(2) 高周波電縫溶接およびその技術について(住金・和歌山)

3. 自由議題 3件

4. 特別講演「新素材について」

4 件

(横浜国立大学・田中教授)

3 件

5. 工場見学

新日本製鉄(株)八幡製鉄所

(株)神戸製鋼所 長府北工場

(6) その他

2. 工場見学

日新製鋼(株) 呉製鉄所第二製鋼工場, 第二圧延工場の見学を行った。

第3回機器分析分科会 開催日: 6月12日. 開催地: 神田学士会館. 出席者: 佐伯主査, ほか 45 名.
議題

1. WG の進捗状況報告

(1) 発光分析における微量元素定量精度の確認 WG

(2) ISIJ-201-1977 改訂 WG

2. ICP 分析 WG の進捗状況報告

3. 「製鉄所における工程管理分析の現状調査」の報告

第4回化学分析分科会 開催日: 6月12日. 開催地: 神田学士会館. 出席者: 針間矢主査, ほか 43 名.
議題

1. 鉄鋼の原子吸光法 JIS 案及び解説の審議

2. リン WG について

3. ほう素 WG について

第81回鋼中非金属介在物分析小委員会 開催日: 6月13日. 開催地: 神田学士会館. 出席者: 宮本主査直
属幹事, ほか 16 名.
議題

1. 鋼中酸化物系介在物の抽出分離定量法に関する研究

(1) 第9回共同実験に関する自発検討結果

(2) 第9回共同実験結果の報告と審議

(3) 今後の進め方

2. 自発研究成果の発表など

第78回熱経済技術部会 開催日: 5月22, 23日.
開催地: 川鉄・千葉. 出席者: 樋渡部会長, ほか 124 名.

1. 研究議題「千葉製鉄所における省エネルギー活動」(川鉄・千葉)

2. 昭和60年度省エネルギー設備一覧まとめ報告(住金・鹿島)

3. 統一議題「最近の分離ガスの製造と消費」(まとめ: 鋼管・京浜)

4. 自由議題 10 件

5. 自由討論 7 件

6. 工場見学 川崎製鉄(株)千葉製鉄所

第93回計測制御部会 開催日: 7月17, 18日. 開催地: 日新製鋼(株)呉製鉄所. 出席者: 高田部会長, ほか 143 名.

研究報告及び工場見学が, 実施された。

1. 研究報告

(1) 製鉄関係 2 件

(2) 製鋼関係 4 件

(3) 圧延関係 12 件

(4) 製品・半製品の検査(探傷) 3 件

(5) 計測制御に関する新技術, 改善事例の紹介

第54回品質管理部会 開催日: 7月3, 4日. 開催地: 山陽特殊製鋼・姫路. 出席者: 竹内部会長, ほか 94 名.

次の議事につき, 報告, 講演及び, 質疑応答が, 行われた。

1. 共通議題

(1) クレーム処理と対策の現状と問題点

(2) アンケート

クレーム処理と対策の現状調査

2. 講演「トヨタの TQC」

3. 非破壊検査小委員会報告

4. 見学

山陽特殊製鋼(株) 本社工場 (アッセル圧延工場, 熱間押出工場, 第二棒線工場.)

第34回圧延設備分科会 開催日: 6月19, 20日.
開催地: 日新製鋼: 呉. 出席者: 緒方部会長, ほか 140 名.

1) 共通議題「圧延設備における自動化(省力化)」

各社事例発表 7 件

2) 共通議題「油圧サーボ装置の管理」

① 専門委員会による共同研究結果発表

② 各社事例発表 6 件

3) 自由議題

発表件数 3 件

4) 工場見学

日新製鋼, 呉製鉄所 2 熱延工場を見学した。

第7回NIS材料試験検討小委員会 開催日: 6月24日.
出席者: 新居委員長, ほか 14 名.

1. 昭和60年度「NIS プロセス装置材料試験(III)」の最終報告

2. 核エネルギーによる熱化学水素製造についての紹介(日本原子力研究所)

3. その他

特定基礎研究会

第一回石炭の炭化反応機構部会 開催日: 6月6, 7日. 開催地: 新日鉄(株)新山谷寮. 出席者: 持田部会長, ほか 18 名.

1) 部会運営の方法決定

2) 研究対象テーマ, 担当者の決定

研究対象テーマ;

i) 石炭粉の界面化学(挙動と界面)

ii) コークス炉内炭化反応の解析(熱化学解析)

iii) コークス炉内炭化反応の解析(物質輸送解析)

iv) 石炭溶融過程の化学

- v) 炭化反応機構の化学的解明(副生物生成の機構)
vi) セミコークス化焼過程の化学

高温強度研究委員会

第7回高温強度研究委員会 開催日：5月27日。出席者：田村委員長，ほか21名。

1. 各分科会の昭和60年度事業報告と会計報告，特に高温熱疲労試験分科会，および高温脆化分科会より，報告書を1件ずつ発刊した旨が報告された。
2. 各分科会の昭和61年度事業計画と会計予算の報告および切欠き効果試験分科会より，今年度中に報告書を刊行する予定で準備中であることが報告された。
3. 本研究委員会のシンポジウム「高温強度評価の現状と展望」の開催について
4. 特別講演 2件

① 「微小欠陥を有するセラミックスの強度」((株)日立製・機械研)

② 「セラミックスのクリープと超塑性現象」(工技院・名工試)

第12回クリープ強度外挿法分科会 開催日：6月13日。出席者：藤田主査，ほか14名。

1. 高温強度研究委員会シンポジウム「高温強度評価の現状と展望」の開催について
2. 「クリープ国際会議」に於ける外挿法関連報告の紹介
3. 「高温構造物の寿命評価における外挿法の役割」に関する文献紹介 8件
4. その他

第16回切欠き効果試験分科会 開催日：5月7日。出席者：大南主査，ほか17名。

1. 高温強度研究委員会シンポジウム「高温強度評価の現状と展望」の開催について
2. 解析結果および実験結果の報告と総合検討
3. 分科会報告書の作成について
4. 文献紹介 2件

材料研究委員会

第60回材料研究委員会 開催日：7月2日。開催地：神鋼・健保中央体育館。出席者：邦武委員長，ほか9名。

1) 各社研究活動進捗状況報告

2) 関連研究紹介

日本鋼管，神戸製鋼所，日本製鋼所より各1件の論文発表があつた。

3) 工場見学

神戸製鋼所，神戸製鉄所第7線材工場を見学した。

鉄鋼技術情報センター

第24回センター運営委員会 開催日：6月25日。出席者：雀部実委員長，ほか11名。

1. センター共同研究会を情報管理共同研究会と名称を変更した。そして，勉強会として，光ディスク利用研究分科会と著作権研究分科会を設置した。各分科会共，1年間で“まとめ”を行う予定である。

2. センター編集委員会，図書資料委員会，情報委員会の活動報告。

3. 図書室，検索室業務報告。

4. 昭和60年度決算報告および昭和61年度第1四半期収支実績報告。

第3回BDB共同実験WG 開催日：7月1日。開催地：川鉄本社。出席者：加畑委員，ほか9名。

1. BDB共同実験

① BRSによるモデル会社の情報検討

② 米国関係BDB実験の整理法

③ 欧州関係BDB実験の計画検討

2. パソコン・ソフト利用状況調査

① パソコン・ソフト情報のまとめ

情報管理共同研究会

第1回著作権研究分科会 開催日：6月10日。出席者：福井義典主査，ほか9名。

1. 著作権に関する文献調査。

第2回光ディスク利用研究分科会 開催日：7月7日。出席者：野田益弘主査，ほか7名。

1. 光ディスク，電子記録，マイクロフィルム記録媒体に関する文献調査。

2. 光ディスクユーザに対するアンケート調査を検討。

鉄鋼基礎共同研究会

第一回界面移動現象部会 開催日：6月16, 17日。開催地：日本鋼管(株)高輪クラブ。出席者：徳田部会長，ほか31名。

グループテーマの提起，問題整理と全体討議を実施した。

提出資料；

1) スラッグの泡立ち現象

2-1) 精錬反応操作における界面移動現象

2-2) 精錬反応操作における界面現象

3-1) 界面現象に関する熱的問題

3-2) 転炉内COガスの二次燃焼に関する問題

4) 界面移動現象解明へのX線透過法の応用

第1回鉄鋼の結晶粒超微細化部会 開催日：6月27日。出席者：徳永部会長，ほか21名。

1. 鉄鋼の結晶粒超微細化に関するレビューおよび討論。

(1) 加工熱処理関係 1件

(2) 急冷凝固関係 1件

(3) 粉末冶金関係 1件

2. 部会運営その他

第8回高純度鋼部会 開催日：5月30日。出席者：木村部会長，ほか24名。

1. 報告

(1) 肌焼鋼の靱性を高純化の影響(大同・中研)

(2) 黒鉛炉原子吸光法による金属材料中の微量成分の定量(金材技研)

- (3) 航空機用高純度ステンレス鋼のフレット疲労 (長岡技科大)
2. 高純度鋼部会の今後の活動等について
 3. その他

長, ほか 19 名.

1. 1st circular を作成し, 30 カ国に約 1700 部送付したことが報告された.
2. Opening lecture を 3 件, Keynote lecture を 13 件依頼することを決定した.
3. 会議終了後幹事会が開催された.

なお, 第 1 回実行委員会は 3 月 13 日に, 第 2 回実行委員会は 4 月 25 日に開催され, 本国際会議の基本方針の決定と, 1st circular の決定がされた.

国際会議

加工熱処理の物理冶金に関する国際会議第 3 回実行委員会 開催日: 7 月 11 日. 出席者: 田村今男実行委員

原稿用紙, 合本ファイル有償頒布について

1. 原稿用紙 (鉄と鋼用本文用紙 50 枚・図面用紙 8 枚綴) 1 冊 500 円 (〒 350 円), 2, 3 冊 (〒 700 円)
2. 図面用紙 (鉄と鋼用 50 枚綴) 1 冊 500 円 (〒 350 円), 2, 3 冊 (〒 700 円)
3. 講演前刷用原稿用紙 鉄と鋼用 (1 枚 30 円), Transactions ISIJ 用 (1 枚 30 円)

郵送頒布の場合は下記のとりの枚数を限定させていただきます。なお 50 枚以上の場合は係までお問合せ下さい。

	10 枚	20 枚	30 枚	40 枚	50 枚	備 考
鉄 と 鋼 用	540 円	950 円	1250 円	1550 円	2200 円	} 料金は送料込み
Transactions 用	540 円	840 円	1250 円	1550 円	1850 円	

4. 「鉄と鋼」用合本ファイル 1 冊 会員 330 円 非会員 360 円 (送料別)
5. 申込方法 ①原稿用紙の種類, ②枚数, ③送付先明記のうえ, ④料金 (1000 円以内は切手でも可) を添えお申し込み下さい。
6. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会庶務課